

外研

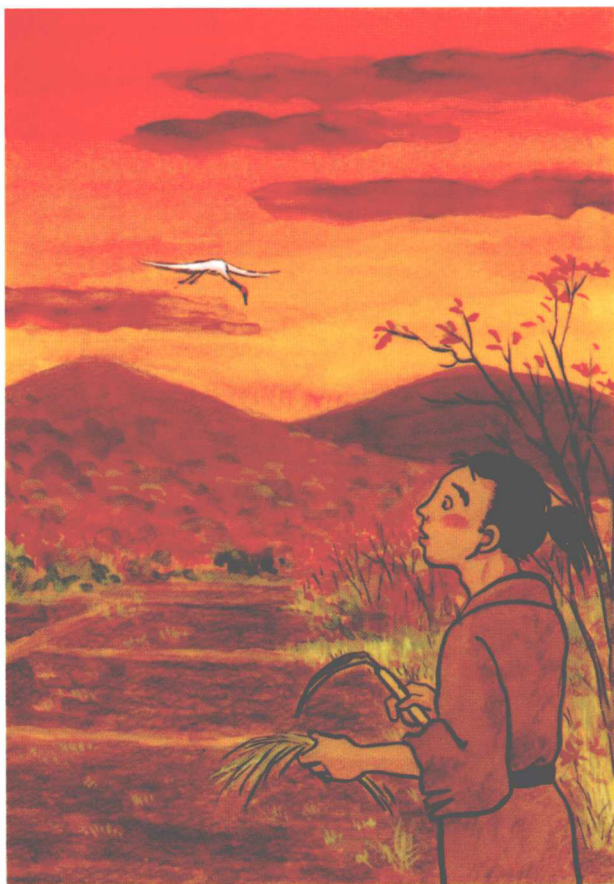
日语分级读库



にほんご よむよむ文庫

Vol.2 3 7

つる おん がえ
鶴の恩返し



日本NPO法人 日本語多読研究会 主编
桥爪 明子 (日) 改编
白须 道子 (日) 插图

外研

日语分级读库



にほんご よむよむ文庫

Vol.2 3 ⑦

つる おん がえ
鶴の恩返し

日本NPO法人 日本語多読研究会 主编

桥爪 明子 (日) 改编

白须 道子 (日) 插图

外语教学与研究出版社

北京

京权图字：01-2008-1938

© Originally Published by ASK Publishing Co., Ltd., Tokyo Japan

图书在版编目(CIP)数据

外研日语分级读库. Vol.2. 3 ⑦ / 日本NPO法人日本語多读研究会主编. — 北京: 外语教学与研究出版社, 2009.1
ISBN 978-7-5600-8121-2

I. 外… II. 日… III. 日语—语言读物 IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2009) 第 006903 号

出 版 人: 于春迟

责任编辑: 刘 军

装帧设计: 王 军

出版发行: 外语教学与研究出版社

社 址: 北京市西三环北路 19 号 (100089)

网 址: <http://www.fltrp.com>

印 刷: 北京国邦印刷有限责任公司

开 本: 880×1230 1/32

印 张: 1

版 次: 2009 年 2 月第 1 版 2009 年 2 月第 1 次印刷

书 号: ISBN 978-7-5600-8121-2

定 价: 34.90 元 (全五册)

* * *

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话: (010)88817519

物料号: 181210001

日本語を勉強しているみなさんへ

「ごほんごよむよむ文庫」は、

日本語を勉強しているみなさんのための「読みもの」シリーズです。

楽しみながらたくさん読んでください。

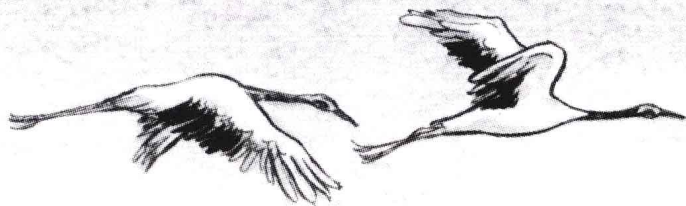
やさしいものからたくさん読むと、知らないうちに漢字の読み方や言葉が身につきます。

読んだ話をCDでも聴いてみてください。読みながら聴いてもいいですよ。

目からも耳からもどんどん日本語を吸収しましょう！

「ごほんごよむよむ文庫」4つのルール

- 1 やさしいレベルから読む。
- 2 辞書を引かないで読む。
- 3 わからないところは飛ばして読む。
- 4 進まなくなったら、他の本を読む。



鶴は、白くて美しい鳥です。

秋になると、寒い国から日本へ飛んできます。

そして、春になると、また寒い国へ帰っていきます。

昔、あるところに与作という若い男がいました。

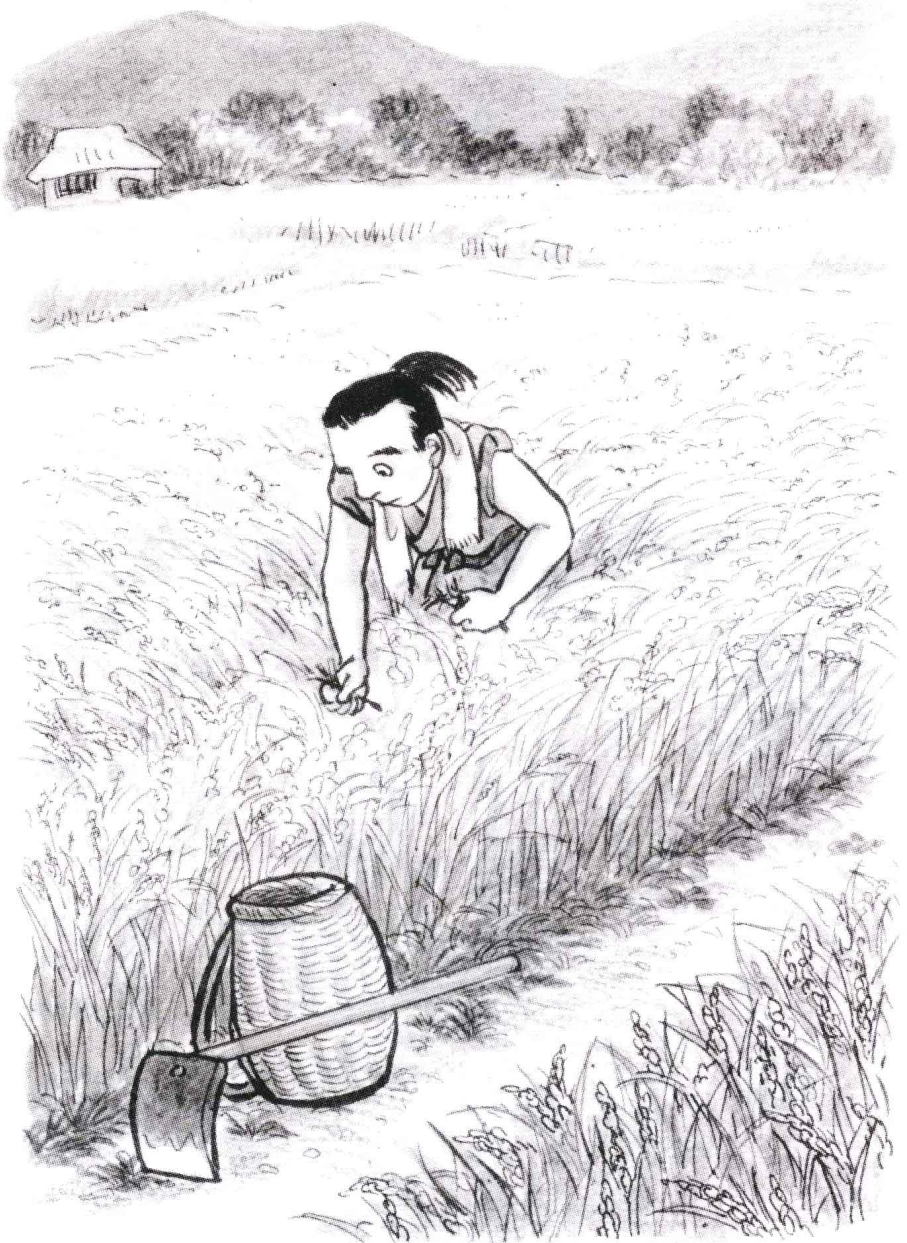
与作は一人でした。両親は何年も前に死んでしまいま

した。兄弟もいません。与作は貧乏でした。毎日、朝

早くから田んぼに行つて米を作ります。そして、夜遅く

まで働きます。しかし、生活は少しもよくなりません

でした。



ある日のことです。

与作は、いつものように田んぼで働いていました。

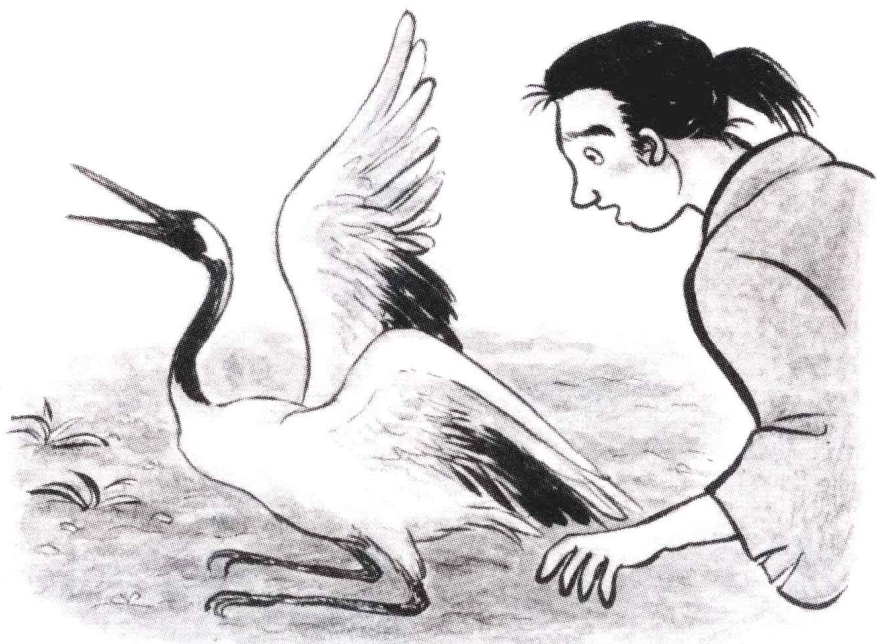
秋が終わるころでした。木の葉の色が赤や黄色になって、森や山の景色も、すっかり変わりました。夕方になって空が赤くなると、その景色は本当にきれいでした。与作は仕事をやめて、しばらく空を見上げていました。

「きれいななあ……。でも、もうすぐ冬が来るな。風が冷たくなってきた」

与作はそう言つて、山のほうを見ました。すると、山の向こうから白い鳥が飛んできます。それは鶴でした。白くて美しい鶴が、ゆっくり与作のいるほうに飛んできて、田んぼの上に静かに下りました。

「ああ、今年もまた鶴が来た。鶴は、本当に美しい鳥だなあ」





与作は、しばらく鶴を見ました。ところが、鶴は田んぼに下りたまま、全然動きません。

「どうしたんだろう」

与作は鶴のほうに歩いていきました。鶴は驚いて飛ぼうとしましたが、うまく飛べません。与作がそばへ行ってみると、鶴は足に怪我をしていました。

「痛いだろうなあ。これでは空を飛ぶことはできないな」



与作は鶴を家に連れて帰りました。そして、足に薬をつけてやりました。

二、三日すると、鶴の足はよくなりました。与作は鶴にやさしく言いました。

「さあ、もう大丈夫だよ。好きなどころへ飛んでいきなさい」

すると、鶴は、うれしそうに家の外に出ていきました。そして、与作の頭の上を、ゆっくり大きく三回まわって、山の向こうに飛んでいきました。

冬が来ました。田んぼも森も山も、雪で真っ白になりました。

ある夜のことです。その日は、朝から雪が、ずっと降っていました。与作は火のそばに座って、竹のかごを作っていました。

——今夜は本当に寒いなあ。風も強くなってきた。早く寝たほうがいいな——
与作は、そう思っ立ち上がりました。そのときです。

トン、トン、トン

戸をたたく音が聞こえました。だれかが来たようです。

——こんな雪の夜に、誰だろう——

与作は戸を少し開けてみました。すると、そこに白い着物を着た女が立っていました。

「どうしたんですか」

与作は、びっくりして聞きました。女は下を向いたまま、小さな声で答えました。

「私は、隣の町に行くところでしたが、途中で道がわからなくなってしまうました。すみません、今夜、この家に泊めていただけませんか」

女は、とても疲れているようでした。やさしい与作は、
「いいですよ。外は寒いでしよう。早く中に入ってください」
と言って、女を家の中へ入れました。



二人は火のそばに座りました。
与作が女に名前を聞くと、
女は答えました。

「私は、さよと言います」

そう言いながら、女は頭にかぶっていた白い布を、ゆつくり取りました。さよは、若くて美しい女でした。

——なんて、きれいな人なんだろう！——

与作は驚きました。

——顔は雪のように白い。髪は長くて美しい。こんなきれ



いな人は、今まで見たことがな
い——

雪は、どんどん降ってきてまし
た。風も、だんだん強くなって
きました。与作は、さよに言
いました。

「狭いところですが、今夜は、
ここで、ゆっくり休んでくださ
い」

「ありがとうございます」

さよはそう言って、頭を下
げました。



それから何日も、雪はやみませんでした。さよは、その間、与作の家において、与作の食事を作ったり、仕事を手伝ったりしました。一生懸命働くさよを見て、与作は、さよのことがとても好きになりました。そして、こう思いました。

——ずっと、さよと一緒にいたいなあ——

与作は、さよに言いました。

「さよさんは、どうしても隣の町へ行かなければならないのですか。私は今まで、ずっと一人で暮らしていて、とても寂しかった。でも、今、あなたと一緒にいて、本当に幸せです。だから、どこへも行かないでください。私と結婚してください」

与作の言葉を聞いて、さよは少し恥ずかしそうにしましたが、

「私も、あなたと一緒にいて、とても幸せです。あなたの奥さんになりたいと思っています。ずっと、この家において、あなたのために働きます」

と答えました。

与作は、さよの言葉を聞いて、うれしく
なりました。でも、もう一度、さよに聞い
てみました。

「さよさん、私は貧乏なので生活は大変
ですが、それでもいいですか」

すると、さよは、

「はい。どんなに大変でも、いつまでも一

緒にいます」

と言って、丁寧に頭を下げました。

こうして、二人は結婚しました。



春はるになりました。雪ゆきは、すっかりなくなつて、花はなが咲さき始はじめました。

与作よさくは、また、毎日まいにち、田たんぼに出でかけていきました。さよは、おいしい食し事くを作つくつて、与作よさくが帰かえつてくるのを待まちました。

